

諏訪市男女共同参画市民協議会の活動報告

● 視察研修



8月30日、安曇野広域農道沿いの農事組合法人「旬の味 ほりがね物産センター」を視察しました。農家の女性たちが作った野菜を持ち寄り始めた新鮮野菜市が発展し設立されました。農産物の直売のほか手作りの加工食品や地元の旬の野菜を食材にした食堂も運営しています。組合員数は160人で役員は理事5名(女性2名)運営委員15名。直売、加工、食堂部門合わせて80人程の規模。平均年齢60歳で女性が殆どです。道の駅(アルプス安曇野ほりがねの里)にも指定され年間30万人が訪れます。年間数億円を売上げる女性のパワーに驚きました。高い集客力の秘密は、イベントを企画し実施していることです。

● 男の腕まくり料理講座

講座は昨年9月4日にわたりカルチャーホームすわで行われました。米粉や地場産野菜を使った料理ということで、原村こめっこクラブの女性が講師でした。メニューはピザ・お好み焼き・薩摩揚げなど手軽で美味しそうなものでした。メンバーは常連と料理が初めての人の混成でしたが、手際の良さに講師は感心していました。結婚を控えた若い男性が完成した料理を彼女のために持ち帰るといふほほえましい光景もありました。男性も料理に関心を持つ人が増えているようです。



● ともに生きる諏訪市民大会



12月14日(土)西田小夜子さん「～人生の後半をいとおしむ～妻と夫の定年塾」
「人生は60歳からが面白い。夫婦が楽しく暮らすためには、互いの気持ちをきちんと話し合うこと」と語り、男女それぞれが自立し、生きがいをもつこと、地域とのつながりを大切にすることなども提唱されました。聴衆約230人は、西田さんがこれまでに取材した夫婦の実態や、自らの体験に耳を傾け、人生の後半を快適に暮らす術を共に探りました。特筆すべきは、男性や夫婦での参加が多かったこと。定年後の暮らしに対する関心の高さが伺えました。

編集後記

昨年12月に北朝鮮の金正日総書記が死去。チュニジアの政変をきっかけに民主化要求運動「アラブの春」が中東全域に広がり、リビアでは10月カダフィ大佐が反体制派に殺害された。いずれも閉ざされた国の独裁者と言われる人々で一時代の終わりを暗示するようでもある。これらの国々や地域においてもっと開かれた社会・民主化が進むためには、女性の社会進出が不可欠ではなからうか。



中学校の家庭科の教科書に学ぶ男女共同参画



10月25日に開催された加藤さゆり副知事との懇談会で、「中学校の家庭科の教科書には、育児・家事・家族・地域とのかかわりなど男女共同参画のすべてが含まれているとてもいい本です。しっかり学べば私たちの目指している男女共同参画社会になります」というお話がありました。今年度の教科書を借りてきて、市民協議会の会員でのぞいてみました。現在家庭分野・技術分野(3年間各1冊)それぞれを男女一緒に学んでいるとの事でした。

.....市民協議会の会員のつぶやき.....

- ・「ともに生きる私たち」とか「私たちの成長と家族・地域」だって、まさに男女共同参画のことが書いてあるんじゃない。
- ・「大勢の人とかかわってきたから、これからは積極的にこのつながりをつくっていく」と書いてある。人間関係の重要性をいっているよね。
- ・「自立した生活者になるために、自分の考えを明確にして、情報を的確に判断して、責任を持って行動することが大切」ってしっかり方向付けされているね。
- ・単元ごと、はっきりと目的が掲げられ、具体的な例があげられているよ。幼児については、生活や遊び・心身の発達についてもふれられているよね。
- ・中学生は幼児との触れ合いの実習を行っているって言ってたよ。
- ・家族や地域とのかかわりについても細かく載っている。
- ・あっ「男女共同参画基本法」も参考資料として掲載されている。
- ・「子ども権利条約」の解説もあるよ。
- ・町内会長さんからのメッセージには「将来の地域の担い手として中学生には大きな期待を寄せている」って書いてありますよね。まさにそのとおり!
- ・この教科書をしっかり学べば、「男女共同参画社会」は自然と成り立っていくね。
- ・中学校の家庭科の教科書ってすごい!!

*中学校のお子さんのいらっしゃるご家庭では、是非一度手に取ってご覧ください。
諏訪教育会(諏訪一丁目)でも教科書の閲覧ができます。

いきいきと 自分らしく 輝いて!

■育児休業取りました!

セイコーエプソン(株) 浅見 健次さん



○育児休業を取得したきっかけは?

テレビで育児の特集を観て、世帯主が育児休業を取得した場合、収入の50%の給付金が支給されることを知り、これなら親子3人でも生活していけるという見通しが立ちました。家族ぐるみで仲良くしている同期の夫婦が子育てしている様子を見て、1歳くらいまでは手がかかって大変そうなのが分かっていし、妻が見知らぬ土地で一人で育児をする負担を少しでも軽減するために、二人で子どもを育てたいと強く思いました。

○育児休業を取ると言った時の職場の反応は?

仕事も10月から一区切りとなっていたこともあり、職場の部長は自分が育児休業を取ることを快く承諾してくれました。復帰後も同じ部署、仕事に戻ることができました。休職中も会社との連絡を月1回取っていたので、スムーズに仕事に戻ることができました。

○育児休業を取得してよかったこと

育児の大変さを身を持って知ることができ、育児休業を実践できて良かったと思っています。妻の負担を減らすこともでき、会話も増えました。

○何かアドバイスはありますか?

色々情報収集してみると、意外と取得しやすいですよ。妻、子どもとの絆を深め、家族愛が深まります。是非、育児休業を取得してみてください。

諏訪市役所 矢澤 悠哉さん



○育児休業を取得したきっかけは?

小さい頃から両親は共働きで、父も母も料理や洗濯など家事全般を二人でしていたのを見ていたので、子育てにも積極的に参加したいと思っていました。

○職場での反応はどうでしたか?

職場では「自分たちの負担になる部分もあるけれど応援する」と強く背中を押してもらいました。特に子育て経験のある女性の方からは応援の言葉を多く頂きました。

○子育てした感想は?

毎日が新しいことの発見でとても楽しかった。一番成長する時期で「初めて〇〇した」という現場に立ち会えて、子どもの成長を身近で見られ、感じられて本当によかったと思います。すべて自分でやることに始めは戸惑いがあったが、やっていくうちに慣れていきました。

○よかったことは?

育児の経験を生かして、仕事復帰後も無駄な時間を作らず、以前より時間を工夫して使うようになりました。育児・仕事の両立で生活にメリハリもあります。

○最後に一言

子どもは自分の思うようには動いてくれず大変な部分もありますが、子どもの成長を日々感じられます。育児は楽しいですよ。是非育児休業取ってみたいと思います。

■私たち女性もがんばってます!

ホテル紅や若女将 木本なぎさん



○若女将になったきっかけは?

総支配人が辞めてしまい、女将がおりませんでしたのでお話がありました。女将としての経験はありませんでしたがお受けしました。

○若女将として心掛けていることは?

女性ならではの細やかな心遣いですね。

○若女将として何かやりたいこと、変えていきたいことはありますか?

結婚しても辞めるのではなく、仕事を続けられるような職場にしたいと思います。会議では女性は私ひとりですが、女性目線での意見を積極的に述べさせてもらっています。女性が働きやすい職場づくりのため、他の課長さん達にも配慮してもらえるようになってきたと思います。楽しい職場にするため女子会を始めたり、今年は職員で漬物などを作りたいと思っています。

○若女将になってよかったなと思うことは?

たくさんの人に会えることがとにかく楽しい。お客様から笑顔をもらえることがうれしいですね。

○お客様の反応はどうですか?

体の不自由な方やお年寄りのために、入り口やお風呂に手すりを設置して利用しやすくなったと言われました。また、夕食時にあいさつにきてくれてうれしかったとも言われました。

○今後の抱負は?

これからは地域をあげて観光に取り組んでいかななくてはいけない時期にきていると感じています。諏訪の女将さんたちと協力し合って、新しいものに取り組んでいきたいと思っています。

諏訪二葉高校 PTA 会長 小泉なおみさん



○会長になった経緯は?

PTA 役員決めに難航し、何回か集まる中で私がお受けすることになりました。

○PTA 会長をやってみての感想は?

女性だからといって困ることは特にありません。ただ、人前で話をしなくてはいけないので経験がないから大変です。でもこれも慣れですから…何とか頑張っています。また、他校の役員さんと話をすることもとても楽しいです。地域・社会とのかかわりも大切だと感じてやっています。

○やってよかったことはありますか?

すごく勉強になります。今までにないことを経験することで、視野が変わり、広がり、以前とは違うものがみえてきました。ありがたいことです。

○最後に一言

女性もやる時にはやらなくてはいけないと思います。しっかり覚悟を決めてやればできないことはないはず。是非社会経験を多く積んで自身の視野を広げてほしいと思います。

■60歳過ぎてからを楽しんでいます!

男声合唱団 シルキーナイツ



○団体の構成はどのようになっていますか?

現在 32 名 35 ~ 74 歳まで
平均年齢 67 歳 ほとんどが 60 歳代

○団体の発足のきっかけは?

平成 18 年に既存合唱団の「シルクハット」から分かれて新たに立ち上げました。ほとんどが諏訪の人たちです。住んでいたりかつて諏訪で働いていたりした人で遠くは山梨や安曇野の人もいます。モットーは「楽しく集い楽しく歌う」ことです。ほとんどがカラオケ仲間、コンサートを聞きに来たのをきっかけに入団された方もいます。

○「シルキーナイツ」という名前のいわれは何かありますか?

品格のある男性、シルキーなナイトということです。

○どのような活動をされていますか?

練習は毎週火曜日の午後 7 時 ~ 9 時まで、東京の指揮者の花岡由裕先生より本格的にレッスンを受けています。準備体操に始まり発声練習、歌い始めるのは 7 時半過ぎになります。これまで 2 回コンサートを開催して練習の成果を発表しました。また、諏訪市の文化祭等要請があればできるだけ参加するようにしています。ボランティア活動で、施設の慰問・訪問を行なっています。湯の里やかりんの里等へ伺いましたが、一緒に口ずさんで楽しんでくれたり、中には涙を流して泣いてしまう方もありました。

○家族の方の反応は?

理解を示してくれていると思います。見直されているような気がします。コンサートを聞きに来て感動したと言ってくれました。

○最後に一言

団塊の世代で企業戦士として働いてきたが、リタイアした後をこころ豊かに過ごしたいと思っている方、企業とは切り離れたまったく違う、感情のぶつかり合いもなくしながらみもないこの合唱団と一緒に楽しく歌いませんか?歌うこと大好きな男性大歓迎です。

男性の料理グループ 男の腕まくり料理同好会

○グループ発足の経緯

平成 18 年 10 月、男女共同参画市民協議会で開催した「男の腕まくり料理講座」を終了した有志が、「一応基本的なことはできるようになった、もう少し勉強してみたい」ということで始めました。今まで通算 63 回開催 現在会員 19 名 60 ~ 73 歳 平均年齢 68 歳 毎月第 1 月曜日料理実習



○会員の方にこの会に入ったきっかけ、感想・意見をお聞きました。

- ・ひとり者なので、料理を作らなければいけない。味付けは参考になる。
- ・「私が寝込んだ時に困るから行きなさい」と妻に言われて始めた。家では片付け位しかやらない。たまにはつくってくれと言われる。夫婦の会話が増えました。
- ・定年後自分に何も趣味がない事に気がついた。「男の腕まくり料理講座」に試しに参加してみた。この会にも参加して現在に至る。作ること・食べることが楽しい。楽しい事が一番だと思う。自宅では簡単なものを月一回くらい楽しみで作っている。
- ・定年になり、妻が倒れた時に何もできない事に気づき、ひとりになった時のために始めた。娘・妻は「おいしい」と言ってくれる。料理を作ると言うことはこんなに楽しいとは思わなかった。こんな楽しい事を女の人だけにやらしておくのはもったいない。惜しい。妻は変則勤務なので、疲れている時にはできるだけ作るようにしている。「すぐ食べられてうれしい」と言ってくれる。
- ・孫にはオムライス、妻にはハヤシライスが好評。この会は雰囲気がとてもいい。地区の仲間同士自分で作った料理を持ち寄って妻たちを呼んで会食しようと企画中。
- ・今までやってこなかったことをやってみようと思った。なんでもやってみないとわからない。ひとりの時間を有効に使いたい。この会は色々な人の集まりなので、色々な話が聞ける。みなさん好奇心旺盛な人ばかり。